

年 月 日：クリティカルシンキング

題名 [] 学籍番号 氏名

	A	B	C	D	E	F	G	H
自分の考えの構築	☐ 資料を根拠に他者の意見と対立させて、自分の考えとその問題点を示すことができる。 ☐ 自分の考えへの他者の批判に対して十分な反論を行い、そこから新たな考えを生み出している。	☐ 資料を根拠に他者の意見と正確に対立させて自分の考えを述べるができる。 ☐ 学問的知識や専門家の考えを根拠にして自分の考えに対する他者の批判を想定し、それに対する反論を提示できた。	☐ 自分の意見を現実的視点から捉え直し新たな資料を根拠に自分の考えを組み立て直している。 ☐ 自分の考えへの批判とそれに対する反論を、学問的知識や他者の考えといった根拠が不十分ながらも提示している。	☐ 自分の考えを実際の事例や資料を用いて具体的に述べている。 ☐ 自分の考えへの批判とそれに対する反論を、学問的知識や他者の考えといった根拠が不十分ながらも提示している。	☐ 自分の考えを実際の資料を用いて述べられているものの、選んだ資料が実際に自分の考えの構築に結びついてないところがある。 ☐ 批判を予想できているものの、それが批判なのか意見なのか分かりにくい。	☐ 自分の考えを述べるべく資料に言及しているが、その内容の表面的意味しかとらえていない。 ☐ 自分の考えに対する批判を予想している。	☐ 自分の考えを実際の事例を用いて述べているが挙げた事例が単なる自分の体験談になっている。 ☐ 自分の考えに対する他者の批判があるという認識に至っていない。	☐ 自分の考えを示せたが学問的知識や専門家の考えによる根拠をふまえていない。 ☐ 批判や反論とは何かを理解していない。
学問的知識・専門家の主張の考察	☐ 課題における二つの問題を学問的知識や専門家の考えにより正確に対立させ、そこから新たな視点を提示できる。 ☐ 課題における二つの問題と特徴をふまえて、新たな課題の中心となる課題を提示できる。	☐ 課題における二つの問題を学問的知識や専門家の考えにより対立させることができる。 ☐ 課題における二つの問題を正確に説明でき、かつこれらの問題を自分の関心ある事柄に沿って検証できる。	☐ 課題における問題の説明の事例として資料内容を正確に活用できる。 ☐ 課題における二つの問題を正確に説明でき、かつそこから一つの視点を見出すことができる。	☐ 根拠や論理の面で不十分なものの、課題における二つの問題の両方に注目し説明できている。 ☐ 課題における二つの問題を正確に説明でき、かつこれらの問題の特徴を正確に指摘できる。	☐ 課題における二つの問題を説明しているもののその内容が資料の用語の意味をふまえずに使っている。 ☐ 課題における問題を正確に説明できているものの、その説明が一つの事例からしかなされていない。	☐ 課題における二つの問題をふまえて説明しているものの、全体的には一つの問題に着目する形になっている。 ☐ 課題における二つの問題をあげているものの、その説明が不十分である。	☐ 課題に示された二つの問題のうち、一方にしか注目していない。 ☐ 課題における二つの問題をあげているものの、それが間違っている。	☐ 課題に示された問題を自己流に解釈して、一方の問題しか注目していない。 ☐ 課題における二つの問題に一切触れていない。

【コメント】